

看護師特定行為研修管理委員会

看護師特定行為研修管理委員会委員長 岡本 充子

看護師特定行為研修責任者 吉永富美

【目的】

本委員会は、保健師助産師看護師法第三十七条の二第二項第一号に規定する特定行為及び同項第四号に規定する特定行為研修に関する省令第七条第一項第七号に規定する特定行為研修管理委員会として設置され、特定行為研修の実施の統括管理を目的としています。

【活動報告】

月1回の定例委員会での検討事項および行事内容については以下を参照してください。(表1)

表1 2024年度委員会活動

月	活動内容
4月	・2025年度看護師特定行為研修受講面接 ・2025年度看護師特定行為研修受講選考
5月	・2025年度看護師特定行為研修開講式
7月	・2026年度看護師特定行為研修受講コース・定員数の検討
8月	・2026年度看護師特定行為研修受講コース・定員数の検討 ・1期実習開始 選択コース・院内血液ガスコースの講義・演習・実習開始
9月	・受講者共通科目修了判定 ・2024年度修了式、2025年度受講面接・開講式日程検討
10月	・2026年度募集要項検討 ・区分別科目講義・演習・OSCE、
11月	・2期実習開始(1/28まで) ・指定研修機関変更届出書提出 当院指導医の追加、及び、協力施設の区分追加
1月	・2025年度受講説明会開催
2月	・2024年度看護師特定行為研修修了判定
3月	・2024年度看護師特定行為研修修了式

1. 2025年度受講状況(表2)

2025年度は栄養コース、創傷コース、集中コース、救急コース、外科系基本コース、麻酔コース、選択コースの7コースを開講しました。受講申込者29名(近森会5名、近森会以外17名、院内血ガスコース7名)に対し面接試験を実施し、全員受講が認められ、6月より研修を開始しました。また、院内の特定行為研修終了者に対し、「院内血ガスコース」を開始し、希望者7名が受講しました。今年度は受講生を増員のため、2期に分けて実習を行いました。

第1期：選択コース9名

第2期：共通科目を含む受講生20名

共通科目・区分別科目の講義・演習・実習を行い、2025年3月28日に29名が全員修了することができました。

2. 研修修了生に対するフォローアップ研修

[2025 年度フォローアップ研修実績]

第 1 回：活動報告会

内容：特定行為の実践と成果

幡多けんみん病院:岡本（認知症ケア認定）

国立高知病院:西岡

あき総合病院:新土居

近森病院:仮谷

開催日：令和 7 年 8 月 31 日

参加人数：31 名

当施設修了者 21 (内、当院 8)、 他施設修了者 10 名

第 2 回：近森病院看護師特定行為研修 10 周年記念講演会・交流会

内容：①多職種から見た特定校医研修終了看護師の役割と期待

講師：近森病院病院長 川井和哉

近森病院栄養部部长 宮島功

②術中麻酔管理報告 講師：近森病院麻酔科 立石修久

③特定行為研修開始から 10 年、解決できた課題と残った課題、今後の方策

講師：済生会水戸総合病院診療看護師、ラプタープロジェクト社代表

開催日：令和 8 年 2 月 7 日

参加人数：特定行為研修終了者・指導者、その他特定行為研修に教務がある方

院内外、職種問わず

会場参加 80 名+Web 参加 80 名 合計 160 名

表 2 2021～2025 年度総定員数と受講状況

		2021 年度 (総定員 18)	2022 年度 (総定員 20)	2023 年度 (総定員 20)	2024 年度 (総定員 20)	2025 年度 (総定員 20)
栄養コース		4	4	2	1	3
創傷コース		休講	3	4	2	2
外科系基本コース		4	3	2	4	3
麻酔コース		0	4	2	2	4
集中コース		6	6	2	3	1
救急コース		2	4	2	2	5
選択コース	胸腔ドレーン	休講	0	0	1	0
	腹腔ドレーン	休講	0	0		0
	PICC	0	0	1 (栄養コース受講者 1)	1 (栄養コース受講者 1)	4 (集中・救急コース受講者 2)
	気管カニューレ	休講	2 (栄養コース受講者 2)	1 (栄養コース受講者 1)	1	1 (栄養コース受講者 1)
	血液ガス					9 (外科基本コース受講者 1)
総受講者数		16	24	14	16	29

看護師特定行為研修業務管理委員会

委員長 岡崎 継

【目的】

本委員会は、院内で実施される特定行為に係る安全性の確認及び評価等を審議し、特定行為研修修了者の活動を支援します。

【活動内容】

- ・ 特定行為研修修了者が安全に特定行為を実施できるよう支援体制を整備します。
- ・ 院内で特定行為を実践する特定行為研修修了者の登録を行います。
- ・ 特定行為研修修了者から提案された手順書・同意書の審議を行います。
- ・ 特定行為の手技の確認と診療科との特定行為実施に向けた調整を行います。

2025 年度、委員会は不定期、紙面等で開催しました。

(表 1) 2025 年度委員会活動

月	活動内容
4 月	・ 2024 年度看護師特定行為研修修了者の承認・登録 ・ 2025 年度看護師特定行為研修修了者一覧の見直し
8 月	・ 2025 年度看護師特定行為手順書の見直し ・ 特定行為研修終了後のトレーニング期間、運用の見直し

1. 2025 年度修了者

2024 年度の栄養コース 2 名、救急コース 1 名修了の 3 名を加え、特定看護師 23 名、特定認定看護師 9 名で、当院の特定行為研修修了者は 32 名となりました。

麻酔特定看護師は、2024 年 7 月から看護部から麻酔科に所属変更となり、麻酔科医師とのタスクシフトの推進、麻酔特定看護師のケアの質の向上、麻酔特定看護師のスキルアップに繋がっています。

部署別特定行為研修修了者数 (表 2)

2. 特定行為研修修了者の活動 (活動報告書より)

① 手順書の登録

手順書の見直しを行い、新登録 12 で合計手順書数 35 件 (25 行為) を登録し、電子カルテの「資料」に開示しました。

② 手順書による介入

・ 介入件数 7 月～12 月

麻酔以外 244 件 麻酔 998 件

- ・ 特定行為修了者の活動には指導医と指導者等の理解、協力が大きく影響しています。現在、特定行為修了者は 32 名に達し、29 行為の研修体制を整えているが、実際に運用されているのは 14 行為に留まっています。15 行為の未実施は、ニーズのミスマッチや現場環境の未整備を考えられ、今後、院内周知の強化と活動支援のさらなる拡大が必要です。
- ・ 行為別では麻酔関連行為が最も多く、RRT (院内迅速対応チーム) へ介入する集中コース所属スタッフによる実施件数が増加しています。一般病棟では、CV ドレン・創部ドレーンの抜去や動脈穿刺による採血が多く実施されています。

③ エコー下血管確保

専用 PHS を配置し、血管確保困難例や造影検査等時に要請があります。

PICC は特定看護師の介入日を毎週水曜日に設定していますが、PICC 件数が増加し曜日にかかわらず介入しています。

④ RRS(院内迅速対応システム)

RRTメンバーを集中治療部の看護師、特定看護師、専門看護師、認定看護師が担当し、24時間活動することができました。

表2 部署別特定行為研修修了者数(2025)

	栄養	救急	集中	麻酔	術後 管理	外科 基本	栄養 +集中	創傷 +外科	栄養 +PICC	認定(特定含む)	合計
看護部長室										3 (認知症・WOC・心不全)	3
化学療法室										1 (がん薬物療法)	1
感染制御室										1 (感染管理)	1
手術室				2							2
ER	1				1					2 (クリティカル・糖尿病)	4
放射線科	1										1
救命病棟		1					1				2
ICU	2		2		1				1	1 (クリティカル)	7
HCU	1		1			1					3
急性期一般病棟	3					2		1	1	1 (認知症)	8
合計	8	1	3	2	2	3	1	1	2	9	32

3. 特定行為研修修了者への支援

① トレーニング期間

研修終了後トレーニング期間を半年としていたが、実践件数にばらつきがあるため、症例数と指導者の評価に変更した。

研修終了後半年⇒変更)・1行為に対し3症例

- ・指導医または指導者の評価(可・再トレーニング)
- ・評価表を提出⇒特定行為研修業務管理委員会にて承認する